

# 議会だより

あなたと議会を結ぶ架け橋

暑中お見舞申し上げます

“涼しさよとどけ”

令和6年

第154号

6月議会

7月28日発行

## …… も く じ ……

5月臨時議会 ……………P2	議員表決結果報告……………P5
6月定例会 ……………P2	一般質問 ………………P6
閉会中の常任委員会 ……P3	閉会中の常任委員会 ……P16
一般会計補正予算……………P4	議会全員協議会 ………………P20

**【令和6年6月定例会の動画視聴】**  
6月14日から20日までの定例会や一般質問をインターネットを通じて視聴ができます。ライブ配信もしていますが、当日の動画を録画し、視聴ができるようになっていきます。この機会にご覧ください。



# 5月 臨時議会

5月8日



**湯沢町税条例の一部改正（専決処分）**

地方税法等の一部改正に伴う必要の改正を行う。

**賛成全員** ↓ 承認

**湯沢町国民健康保険条例の一部改正（専決処分）**

地方税法施行令の一部改正に伴う必要の改正を行う。

**賛成全員** ↓ 承認

**令和5年度一般会計補正予算（第10号）（専決処分）**

歳入歳出それぞれ8,117万4千円を減額し、予算の総額を90億852万8千円とする。

**賛成全員** ↓ 承認

**令和5年度介護保険特別会計補正予算（第4号）（専決処分）**

歳入歳出それぞれ1,260万8千円を減額し、予算の総額を9億3,056万3千円とする。

**賛成全員** ↓ 承認

**小型ロータリ除雪車（1.3m級）購入契約の締結**

老朽化が進んでいる小型ロータリ除雪車の入れ替えを行うため購入契約の締結。

・数量：1台

・購入金額：2,620万2千円

・購入先：(株)コバリキ

**賛成全員** ↓ 可決

**令和6年度一般会計補正予算（第1号）**

歳入歳出それぞれ1,011万5千円を追加し、予算の総額を85億8,911万5千円とする。歳出の主なものは、

・旧学校施設管理費250万円

・企画振興費・地域活動支援事業100万円

・個人住民税定額減税にかかるシステム改修委託料453万2千円

△改修委託料453万2千円

**賛成全員** ↓ 可決

**令和6年度下水道事業会計補正予算（第1号）**

収益的収入及び支出49万6千円を増額し、総額を8億4,365万5千円とする。

**賛成全員** ↓ 可決

**湯沢町監査委員の選任**

野上新平氏(南魚沼市石打)(再任)

**賛成全員** ↓ 同意

# 6月定例会

## 本会議審査

6月14日

**湯沢町監査委員の選任**

野上新平氏(南魚沼市石打)(再任)

**賛成全員** ↓ 同意

**湯沢町固定資産評価審査委員会委員の選任**

栗原正人氏(原)(新任)

**賛成全員** ↓ 同意

**病院運営審議会委員の嘱託**

林 明彦氏(諏訪)(新任)

**賛成全員** ↓ 同意

**人権擁護委員候補者の推薦**

綿貫玲子氏(浅貝)(新任)

南雲正史氏(原新田)(再任)

**賛成全員** ↓ 適任

**新潟県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約**

マイナンバーカード移行に伴う規約の一部変更。

**賛成全員** ↓ 可決



大源太排水トンネルからの景色



小型ロータリ除雪車

# 開会中の常任委員会審査

6月14日

※開会中常任委員会審査とは、定例議会中に行われる議案審査を本会議の議決に先立って3常任委員会で行う審査です。

## 総務文教常任委員会

委員長 渡辺千恵

湯沢町職員定数条例の一部を改正する条例の制定

職員の定数を、職員の定員適正化計画の人数である令和10年4月1日現在の132人に合わせ所要の改正を行うもの。

賛成全員 ↓ 可決すべき

湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

パートタイム会計年度任用職員の期末手当の支給率を「100分の60」から「100分の61・25」に引き上げるもの。

賛成全員 ↓ 可決すべき

湯沢町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定

行政手続における特定の個人を識

5月臨時議会

6月定例会

開会中の常任委員会

一般会計補正予算

議員表決結果報告

一般質問

閉会中の常任委員会

議員全員協議会

別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正することに伴い、所要の改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

## 生活福祉常任委員会

委員長 南雲好幸

湯沢町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

健康保険・国民健康保険の食事療養標準負担額・生活療養標準負担額・後期高齢者医療の食事療養標準負担額・生活療養標準負担額の一部を改正する告示の公布に伴い、所要の改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

湯沢町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並

びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、所要の改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

令和6年度国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ150万5千円を追加し、総額を10億5,014万2千円とする。マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修や郵便料の増。

賛成全員 ↓ 可決すべき

令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ46万8千円を追加し、総額を1億4,185万5千円とする。マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けた加入者情報の通知の為に郵便料の増。

賛成全員 ↓ 可決すべき



令和  
6年度特別委員  
会  
一般会計補正予算審査

委員長

田村 計久

# 歳入歳出予算にそれぞれ1億5,806万円を追加 総額を87億4,717万5千円とするものです。

## 主な歳入

国庫支出金	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費 ……………	119万2千円
	地方創生臨時交付金 ……………	2,200万9千円
財産収入	上中子町有地売却収入 ……………	184万1千円
繰越金	本補正予算不足分充当 ……………	1億2,998万8千円
諸収入	上中子町有地測量費用負担金 ……………	190万3千円

## 主な歳出

総務費	定額減税補足給付金（1,700人分） ……………	6,300万円
	個人住民税定額減税、補足給付金対応システム改修 ……	453万2千円
	湯沢こころのふるさと基金事業 ……………	360万円
民生費	価格高騰低所得世帯支援金 ……………	6,250万円
	支援金対応システム改修 ……………	366万3千円
	湯沢町社会福祉協議会運営費補助金増 ……………	182万2千円
衛生費	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付金 ……………	119万2千円
教育費	学園管理費 ……………	788万6千円
	公民館管理費 ……………	379万円

## 説明要旨

この度の補正予算では国の政策として実施する定額減税、補足、寄付金や低所得世帯への支援金などの需用費が大きなもの。

## 主な質疑

**Q** 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付金、被害者の人数と保障の内容は。

**A** 被害人数は3名で1名が認定され、医療費、薬剤費他入院、通院で基準に合う手当が出る。

**Q** 新型コロナウイルス予防接種健康被害給付で3名中1名認定。ほかの2名はどうか。また死亡した場合は。

**A** 3名中1名認定。1名は審査中、1名は認定されなかった。亡くなられた方には令和6年4月から基準では一時金として4,670万円が支給される。

**Q** 物価高騰対応重点支援と電力、ガス、食料等支援事業は人件費も合わせて国の負担か。

**A** 現時点で事業費は全額入ってくる予定。

**Q** マグナの生徒の受け入れ事業費36万円増の経緯は。

**A** マグナとの交流が途絶えていた



マグナ ウェルカムパーティーでの太鼓体験

関係で受け入れ状況が変わった。受け入れ先が決まらず受け入れボランティアをお願いした関係が必要。

**Q** 国際交流ホームステイ事業はすでに破綻している、今後についてはどのように考えているのか。

**A** 来年度以降は行った年にホームステイを受け入れるように変更。報酬も見直し、民宿の方々に受け入れてもらうシステムを構築。

**Q** 学園の井戸ポンプは何年使用か。

**A** 旧中学校当時の物で年数は不明。学園振興費でプログラミング体験教室と促進事業とあるがノンプログラムやノーコードプログラムの体験教室か。

**A** 本格的なプログラミングというより、アプリを使った体験。

# 議 員 表 決 結 果 報 告

令和6年6月定例議会

- 採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- 表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	飯田正義	水谷幸乃	南雲あや子	渡辺千恵	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	宮田眞理子	田村計久
5月臨時議会	湯沢町税条例の一部改正の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部改正の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小型ロータリー除雪車（1.3m級）購入契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度一般会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度下水道事業会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長提出	湯沢町監査委員の選任	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町固定資産評価審査委員会委員の選任	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病院運営審議会委員の委嘱	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員候補者の推薦	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新潟県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員定数条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度一般会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月定例会												

5月臨時議会

6月定例会

開会中の常任委員会

一般会計補正予算

議員表決結果報告

一般質問

閉会中の常任委員会

議員全員協議会

# 町政を問う

「町政を問う」は、本会議で行った各議員の一般質問のページです。

一般質問とは、執行部（町長や教育長）に対し、町政全般について事務の執行状況や方針をただしたり、報告や説明を求めるものです。

執行部の回答時間も含め一人当たりの持ち時間は60分以内です。

このページでの掲載文は、質問者本人が自分の質問内容を900文字に要約したものです。

尚、議会ホームページでは、全ての内容が録画されたものをご覧頂けます。

南雲 好幸 …………… 07

Q 上越線ができなければ湯沢の発展は無く、町民の誇りとなる事業の実施を……………

岸野 雅人 …………… 08

Q 「債務負担行為」で、町単独工事の発注を工夫しよう……………

飯田 正義 …………… 09

Q 「自家用車活用事業」日本版ライドシェア申請について……………

南雲 あや子 …………… 10

Q 会計年度任用職員の待遇改善を……………

並木 利彦 …………… 11

Q 今年の夏季観光の具体的な計画は……………

田村 計久 …………… 12

Q 「柏崎刈羽原発再稼働すべき」は町民の意向を踏まえた発言か……………

高橋 政喜 …………… 13

Q 三俣・湯沢本陣跡に石柱を……………

渡辺 千恵 …………… 14

Q 地球温暖化による雪不足の問題を町はどう捉えているのか……………

宮田 真理子 …………… 15

Q 防災、被災時の備えについて……………



# Q 上越線ができなければ湯沢の発展は無く、 町民の誇りとなる事業の実施を & 南雲好幸(文責)



## A 湯沢駅の百周年式典開催に連携し、 子供をはじめ町民の皆さんにご理解頂く 取組みをしたい



昭和10年の越後湯沢駅周辺

**質問** 来年11月1日は、湯沢駅開業百年である。南魚沼市石打の岡村貢翁とともに我が町の南雲喜之七翁が上越線建設運動を行った。喜之七翁は、貧しかった山間地の住民生活と地域発展のため、私利私欲ではなく私財と労力を惜しまず、中魚沼ルートに決定しかけた路線を湯沢―南魚沼―魚沼ルートに変更するため尽力した。その働きがなければ、上越線の湯沢―南魚沼ルートはなく、また、現在の上越新幹線・関越自動車道

1882年	明治15年	岡村貢鉄道敷設運動開始	温泉宿は江戸時代に4軒あった
1886年	19年	貢翁、喜之七に協力依頼	土樽村村長南雲喜之七25歳
1901年	34年	貢、鉄道会社解散 喜之七伊藤博文政友会へ	レルヒ高田でスキー伝える 1904年日露戦争
1915年	大正5年	翌年運動開始から35年	布場スキー場開発
1917年	6年	上越線建設衆議院可決	ロシア革命
1919年	8年	決定しかけた中魚沼経由 を南魚沼へ変更	前年1918年米騒動とシベリア出兵
1922年	11年	岡村貢翁他界(87歳)	
1923年	12年	清水トンネル掘削開始	岩原スキー場開発 関東大震災
1925年	14年	上越北線湯沢駅開業 建設運動開始から43年	布場スキー場 郡主催スキー競技会開催
1929年	昭和4年	清水トンネル貫通	
1931年	6年	湯沢―水上間開通、上越 線全通 建設運動開始から49年	布場スキー場で湯沢スキー クラブ主催競技会開催 満州事変
1932年	7年		西山1・2号温泉開削成 功、旅館開業増
1934年	9年		川端康成湯沢を訪れ『雪 国』執筆
1935年	10年		読売新聞社主催 苗場山滑降スキー大会
1936年	11年	南雲喜之七翁他界(73歳)	二・二六事件
1941年	16年		太平洋戦争突入 昭和20年終戦
1947年	22年		アメリカ軍岩原スキー場接収
1955年	30年		旧5か村合併し湯沢町誕生
1959年	34年		三国国道が国道17号線に 大峰山31人乗りロープ ウェイ完成
1966年	41年		国道17号線全通
1967年	42年	上越線の複線化完工	43～44年 スキー列車 55%増発
1982年	57年	上越新幹線開業	
1985年	60年	新幹線上野駅乗り入れ	関越自動車道開通 スキー客400万人越え

湯沢町史等参照

**答弁** 駅開業百年、全通百年という節目には、しっかりと取組みたい。

など高速交通体系はできず、この地の発展はなかった。苦勞された先人に恥じない町を築き、子孫に残すことが務め。この功績を顕彰し、感謝する事業を百周年とは言わず行うことが必要ではないか。

**Q** 上越線百周年、子供たちに伝えたいこととして、学園の取組みの予定は

**A** 『大好き湯沢』改訂も含め、この偉業を顕彰し、郷土の誇りとして心に残る教育プログラムや行事への参加を検討したい

**Q** 観光振興計画の予定は遅くないか。リフト券の電子化によるデータ活用も急ぐ必要がある。又、少雪の場合スキー場の雪搬入費助成は可能か

**A** 急がなければならない。又、雪不足時各スキー場の雪搬入方法や経費の状況を調査し、検討したい



岸野 雅人 (文責)

# 「債務負担行為」で、 町単独工事の発注を工夫しよう

# Q



&

## A 年度始めの早期発注に 引き続き取り組んでいく

### 「債務負担行為」で、 町単独工事の 発注を工夫しよう

**質問** 深刻化する降雪の減少、資機材の高騰や欠品、人件費の上昇と働き方改革、恒常的な人材不足等。工事を請ける事業者は、雪のない3〜4月と秋からの外注する業者が見つからない時期の差に喘ぐ傾向にある。

計画的に一部町単独工事を、次年度の支出を約束する「債務負担行為」として、予算化してはいかかがか。

工事予算を抑えつつ、事業者も行政も効率的で合理的な改善となる。限られた税収でも、工事の適時な支出は無駄なく有効な税の町内還流に繋がる。

**長弁 町答** 町単独の工事は、年度始めの早期発注について引き続き取り組んで行く。

**私見** 民間の工事もあり、やはり秋以降冬までは仕事が集中します。

3月末までに準備が出来るなら、様々に助かる面があり

ます。工夫の余地はあると考えます。短い監査経験からもちろそう思います。

### 「町史続編」 編さんの 準備と予算化を

**質問** 町史編さんは大仕事だが、その準備は定期的に行う必要がある。高く評価される前回の湯沢町史発行から、ざっくりと20年。準備は四半世紀に一度はせねばならない。

この20年、地球温暖化が加速する中、大地震、大イベント、そして新型コロナ。世界情勢の変化から各地の紛争、影響を受けた経済も、民俗文化も、自然環境の変化や農業まで、大きな変化とその過渡期となっている。

まごまごしていると、適齢期の執筆者も高齢化する。今は「今、すべきこと」を考えましょう。

**長弁 町答** 前回の湯沢町史は大事業だった。その後の湯沢町の出来事を記録に残さね

ばならない。またIT技術の進化から、記録の残し方も将来を見据える必要がある。検討を開始しなければならぬと考える。

**質問** 優れた「町史編さん」の文化と精神の承継の

ためには、もはや「待った無し」と感じる。

**長弁 町答** 来年度は町政70周年。一つのきっかけとして皆様に働きかけ、前回の編さんから続く25年の歩みを残すことが、今必要かなと考えている。



前回の「湯沢町史」は、評価の高い大作です。もちろん同規模の編さんは望むべくもありませんが、続編のための資料は整えておかねばなりません。



# Q 「自家用車活用事業」日本版ライドシェア申請について

飯田正義 (文責)



## A 今後慎重な議論が必要であると考えている

### 質問

日本版ライドシェアの許可申請は都道府県知事であり、事業者はタクシースタが運送用の自動車の基準や運転者の資格有無なども確認・管理をしなければいけないため、今すぐの実現可否の判断は難しいことは理解しているが、湯沢町としては日本版ライドシェアに関する申請意向や現在抱えている二次交通の課題、ライドシェア導入に向けた課題を町長はどのように捉えているか？

### 答弁

湯沢町の公共交通の再編は、湯沢町地域移動環境計画に基づいて取り組みを進めているが、道路運送法第78条で実施可能な福祉送達や交通空白地に限られた自家用有償旅客運送という制度を活用し、一部バスからの距離が遠いエリアにおける保管的なサービスを検討している。今回の新たな日本版ライドシェアは、地域のタクシー運行事業者等の協力も必要であることから、運転手をされる方や保険の問題なども含めて、

国の方向性を見極めながら今後慎重な議論が必要であると考えている。

### 訪日観光客や海外事業者及び住民向けの各種ガイドライン作成について

### 質問

4月の訪日外国人旅行者数が国内で300万人を超えたニュースが世間では話題となり、冬季の湯沢町においても多くの訪日客の方々にお越しいただきました。しかし、世界40の観光地の滞在費を比較した調査では、東京は4番目に、安い都市となり、直近の訪日客の増加は円安という経済情勢や新型コロナウイルス感染症が5類へ分類された影響が大きいため、観光が主産業である湯沢町において、経済面での不安は残っています。また、訪日観光客を対象にした海外事業者が近年増えています。海外事業者と町との連携は取れているのでしょうか。また、訪日観光客は日本とは異なった文

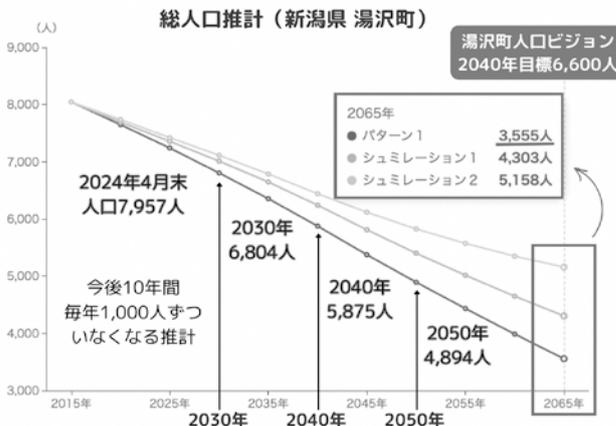
化や生活スタイルであるため、「観光マナーに関するガイドライン」や「外国人居住者向けのコミュニケーションガイドライン」を作成すべきと考えますが町長の見解を伺う。

### 答弁

湯沢町観光まちづくり機構では、今年度外国人事業者部会を設置し、地域としてのルール作りや顕在化してきたゴミ処理、騒音等の課題について行政や町内会と連携して整える予定である。各町内会にアンケート調査を実施し、外国人事業者の所在や実態について、町内会連絡会議を通じて取り組む予定である。観光マナー

に関しては深刻なトラブルがあったとは聞いていないが、マナーに関する啓発チラシ等は観光庁や全国の観光地で掲載している内容をHP等で掲載する形も検討している。合わせて、外国人の住民登録は増加傾向にあるので、外国人が多く居住している自治体の状況も今後も研究していく。

2024年6月 一般質問より(飯田)



参照：国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成



なぐも 南 雲 あや子 (文責)

# Q 会計年度任用職員の待遇改善を

&

## A 不利益にならないように労働環境を整えていく



**質問** 任用職員は、通算勤続年数の長い人が多くいるが4年目からは昇給はない。毎年昇給するようにできないか。

**答弁** 今後何ができるか検討していかなければならない。

**質問** 令和7年度から勤奨手当を支給することだが、令和6年12月から支給するようにし、支給率は正職員と同じ支給率にできないか。

**答弁** 支給も支給率も各自自治体で判断する。令和7年度から支給できるように制度設計をしている。

**質問** 会計年度任用職員の人事評価は、正職員の目標管理も含めた人事評価とは異なり馴染まずやるべき。現在行っている人事評価は何かのためか。

**答弁** 再度の任用の判断材料としている。任用に係る事務も複雑化し、評価する職員の事務負担も大きい。任



見守られて楽しく遊んでいます

用職員の人事評価制度を見直す必要がある。

### 柏崎刈羽原発の再稼働問題

**質問** 新潟日報による柏崎刈羽原発の再稼働に関する市町村長アンケートで、町長は再稼働すべきだと回答した。

これは、町民の声や平成24年の町議会で採択された「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働

を認めない意見書」を無視するものではないか。

**答弁** 新規基準に基づき東電が安全対策を講じ、規制委員会が認めたものは再稼働すべきだ。事故から12年経過しており、議会の意思を無視しているとは思わない。

**質問** 規制委員会まかせに自分で事故検証委員会を立上げ検証してきた。それをどう生かすのか、また能登半島地震による新たな課題への対応が明確でないため、他の市町村長や多くの県議会議員が再稼働よしとしなかった。これらを考慮しても再稼働すべきとする根拠は何か。

**答弁** 安定した電力の確保など国民生活のことも考え、規制委員会が認めたものは再稼働すべき。

**質問** 規制委員会は基準による判断のみで、安全を保障するもの

ではない。事故時の避難には責任を負わず自治体まかせだ。

いまだに残る避難者のこと、核のゴミ問題、原子炉の処理の問題、避難方法のことなど多くの問題があるが、今後再稼働問題について判断を問われたら、町民や議会の意見を聞いたうえで回答すべきだ。

**答弁** よく考えて回答したい。ただ、安全が確保されれば再稼働は仕方がない。



東京電力柏崎刈羽原子力発電所 1～4号機



# Q

## 今年の夏季観光の具体的な計画は

&

並木利彦(文責)



# A

### 例年、今年の計画といったものを策定していない

**質問** 飲食店で使用する海上コンテナ設置時に建築確認が必要な場合は、誰がどこに申請するのか。

**答弁** 建築主が県南魚沼振興局地域整備部建設課に申請する。

**質問** 飲食、宿泊用の海上コンテナ(ISO規格)は、保健所の許可以外に、消防検査と建築確認が必要となる場合がある。海上コンテナはJIS規格でないので建築確認は取得できない。取得するには、JIS規格の鋼材で補強するかトレーラーに載せてナンバーを取るかの2種類しかない。安い投資が結局高い投資となる。町にも建築確認の詳細を相談する体制ができませんか。

**答弁** 県の担当部署で担っていただく。

**質問** 電源開発(株)洪水時到達時に連絡可能とのこと。かぐらスキー場線橋梁の洪水時対応は。

**答弁** 各雨量、気象庁の危機区危険度分布、雨量リーダーなどにより豪雨や洪水の可能性を把握する。

**質問** 今年の夏季観光の具体的な計画は。

**答弁** 例年、今年の計画といったものを策定していない。

**質問** 観光振興計画を具体的な計画にしないと、いつまでも計画のまま。新型コロナ収束に向かい夏季観光は動き出している。新型コロナウイルス禍前の宿泊状況以上に観光客を戻さないと不安で物価も上がり経費は上がる一方で収益が上がらない。ましてはゼロゼロ融資の元金を返さなければならぬ。かつ「公共施設のあり方に関する町民アンケート」の結果をふまえた具体的な動きが必要となってくるが。

例年、今年の計画といったものを策定していない。観光振興計画を具体的な計画にしないと、いつまでも計画のまま。新型コロナ収束に向かい夏季観光は動き出している。新型コロナウイルス禍前の宿泊状況以上に観光客を戻さないと不安で物価も上がり経費は上がる一方で収益が上がらない。ましてはゼロゼロ融資の元金を返さなければならぬ。かつ「公共施設のあり方に関する町民アンケート」の結果をふまえた具体的な動きが必要となってくるが。

**答弁** 今の観光のニーズを踏まえながら新たに取り組みをしていかなければならないと思う。

**質問** 夏の誘客促進としての合宿誘致の支援は大事だと思うが。南魚沼市の大原スポーツ公園の施設は、市内の事業所が夏季合宿使用については補助金が出ている。湯沢町はどうするのか。

**答弁** しっかりとした施設内容というものを提供できるといい体制を含めて、湯沢町としては夏合宿への対応をしていく。

湯沢町としては夏合宿への対応をしていく。

**質問** 妙高市は、「スポーツ等合宿の郷づくり推進条例」を定め市民や民間事業者との連携を図っている。湯沢町とは環境は違うが何を指すかという過程は参考になると思うが。

**答弁** 観光立町宣言湯沢町「君と一緒に暮らす町」の下で、行政または事業者、そして町民の皆さん方とともに連携をしていく。



公共観光施設の中の陸上競技場とカルチャーセンター



田村 計久 (文責)

# Q 「柏崎刈羽原発再稼働すべき」は町民の意向を踏まえた発言か



## A 柏崎刈羽原発の安全性を確信した



東京電力柏崎刈羽原子力発電所5～7号機

### 質問

新潟日報のアンケートで町長は再稼働すべきとしたが県内市町村の首長の多くは「現在の時点で判断できない」としている。原子力規制委員会が昨年2月、運転禁止命令を解除したが原発立地県としての課題は多く再稼働のめどはたっていない。町長は町民の声を聴き信託にこたえ公平、公正で誠実に安全安心な町づくりに努めるべきで、この度の発信は大変疑問である。

### 答弁

原子力規制委員会が東京電力の改善確認と適

### 質問

新潟日報のアンケートで町長は再稼働すべきとしたが県内市町村の首長の多くは「現在の時点で判断できない」としている。原子力規制委員会が昨年2月、運転禁止命令を解除したが原発立地県としての課題は多く再稼働のめどはたっていない。町長は町民の声を聴き信託にこたえ公平、公正で誠実に安全安心な町づくりに努めるべきで、この度の発信は大変疑問である。

### 答弁

冬期間31万人の外国人が来町、移住者も増えている。文化の違いもあり様々な問題が発生しているが町は状況を把握できているか、そして迎え入れる町の体制が整わない需要ギャップも生じているが対策は考えているのか。

増える外国人観光客に対する対応と町民生活の確保について

### 質問

まちづくり機構の方で全町のアンケート調査をおこなうので情報を共有しさらには町内会長会議での関連する状況報告をふまえ実態を改善しなければならぬと思っている。

まちづくり機構の方で全町のアンケート調査をおこなうので情報を共有しさらには町内会長会議での関連する状況報告をふまえ実態を改善しなければならぬと思っている。

### 質問

犯罪の多い町としても監視カメラの増設が必要、現在の補助制度を見直し各町内会に設置要請したらどうか。

### 答弁

地域の安全確保のために見直しを検討してみたい。



監視カメラ

## 観光自主財源導入について

### 質問

全員協議会で宿泊税を定率制で行う説明を受けたが定率制や入湯税の関係など検討が必要で税の利用目的を明確にして、宿泊事業者

全員協議会で宿泊税を定率制で行う説明を受けたが定率制や入湯税の関係など検討が必要で税の利用目的を明確にして、宿泊事業者

### 質問

の賛同を得ることが大前提である。そのうえで何年に導入、目標額はいくらか。

### 答弁

令和8年導入、宿泊税として2億5千万円を試算している。主な利用は利便性の高い二次交通の整備、まちづくり機構の各種施策、観光関連施設の維持、更新、街並みの整備などに充てたい。

## 会計年度任用職員の処遇改善について

### 質問

会計年度任用職員、56名。人員不足を補う大きな戦力で処遇改善が進められているがさらなる待遇改善と正職員採用の検討は出来な

### 答弁

勤奨手当を次年度から支給したい。又支給にあたり人事評価反映方法や支給指数など先行している自治体の状況を調査、研究して準備する。

職員採用については社会人枠で運用している。



# Q 三俣・湯沢本陣跡に石柱を & 高橋政喜(文責)



## A 三俣は私有地によりマップ、 湯沢は検討

### 三俣地区 本陣跡に石柱を

**質問** 一年前に、三俣本陣跡に石柱設置をお願い、

教育長の答弁は「大正7年の三俣雪崩で、本陣は消滅し地域の方から聞いた。私有地にて、石柱設置には検討・協議が必要と認識している。」検討・協議の結果は。

**答弁** 私有地の設置は後々を考えると難しい。私有地に設置した、雪国文化散歩道の道標も撤去の事例も聞いている。本陣跡が残っていれば文化財指定の可能性有、文化財の指定は現状では難しい。三国街道の歴史を目に見える形で伝えていくことは町民にとっても大変価値がある。また、関係者と話し合い最新版の歴史等のマップに。

### 湯沢地区 本陣跡に石柱を

**質問** 湯沢宿本陣は、上宿大火で焼失の記述あり、

現在の町内で場所の特定可能か検討。所有権の問題もあり、石柱設置が可能か検討。湯沢町の貴重な歴史的な財産として総合的に検討、今後の三国街道の活用を考える。との答弁、石柱の件はやる気がない。資料は町史だけでなく他の資料も見聞され答弁か。

**答弁** 湯沢宿の石柱について、湯沢宿の本陣の場所は、道路も拡張されており当時と状況も異なり厳密には多少の誤差あり、公民館からも資料提供され、古い地図で確認した範囲では公民館付近と確認。用地は私有地で確認。ただし、文化財ではなく他の方向で三国街道の歴史を目に見える形で検討する。

### 湯沢町 消防団募集等

**質問** 地域を知る人だからこそ、自分の町を、みんなの町を、一緒に守りましょう

その中に消防団「女性部」を立ち上げますと記され、火災予防の広報・啓発活動、応急手当の普及指導、災害時の被災者ケア等多岐に活躍を期待。5月31日締め切りの人数は、部内編成と町内自主防災組織との整合性は。

**答弁** 5月31日時点5名、女性部の位置は団本部付け、部内編成は部員の中から部長・班長を選任後、任命する。消防団と自主防災組織は異なるが有事の際は協力して行う。

**質問** 団本部付けの理由は。防炎滅災の中で女性としての細やかな温かさ

があり、防災予防に活躍願う。そんな観点から、この度女性消防部という団ができたと思っている。

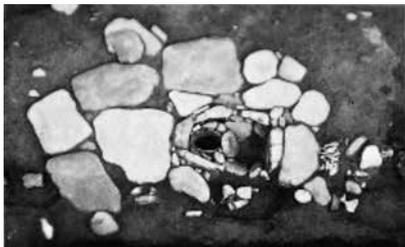
### 川久保遺跡、 敷石住居跡の展示

**質問** 昭和59年改修工事の際に縄文土器発見、川久保遺跡跡付近より敷石住居跡が発見。再度の展示を望む。

**答弁** 当時、関わった職員が退職し、指定管理者と協議し実現の方向で考えたい。



消防団操法大会



敷石住居跡 (川久保遺跡)



わた なべ ち え (文責)  
渡 辺 千 恵

# Q 地球温暖化による雪不足の問題を町はどう捉えているのか



## A 令和6年度中に湯沢町地球温暖化対策実行計画を策定予定

**質問** この数年の様  
に雪が  
少ない  
年が続  
いたら  
、スキ  
ー場は  
経営困  
難に陥  
る。そ  
れによ  
りホテ  
ル、旅  
館、飲  
食業な  
ど周辺  
施設も  
ダメージ  
を受ける  
ことにな  
る。冬  
の観光  
に頼って  
いる湯  
沢町と  
して本  
当に考  
えてい  
かなけ  
ればな  
らない  
時期に  
差し掛  
かっている  
。行政  
が単体  
で考える  
のでは  
なく、  
スキー  
場事業  
者をは  
じめ、  
雪によ  
って生  
かされ  
ている  
業種の方  
と話し  
合う場  
を作り  
、デー  
ター収  
集、検  
討課題  
を出し  
合い、  
この少  
雪問題  
に何を  
すべき  
なのか  
、でき  
るのか  
一緒に  
考えて  
いく必  
要があ  
るのか  
。では  
ないか  
。

**答弁** まちづくり機構や商工  
会が様々な業種の聞き  
取りを行っている。まずはそ  
れぞれの事業者にも頑張っ  
ていただき、その上で町とし  
てもしっかり声を聞き、町とし



今年も雪が少なかった

て何をしていけるのか考えて  
いく。

### 湯沢町観光 まちづくり機構と イベントについて

**質問** まちづくり機構が立ち  
上がり3年。改めて何  
を目指す組織なのか問う。  
を

**答弁** 観光業を超えて、湯沢  
町全体の産業組織の  
様々な声を活かし、観光のま  
ちづくりをしていくための中  
核を担う。またそれぞれ観  
光を含めた方々の「稼ぐ力」  
を引き出すための組織であ  
る。

**質問** まちづくり機構になっ  
てマルシェなどのイベ  
ントなどで成果を上げては  
いるが、温泉夏祭りや雪まつり  
などがなくなってしまうた。  
旧温泉観光協会の時点で地域  
力や人員不足などが原因では  
あると思うが簡単に無くして  
いいものなのか。地域の祭り、  
文化を続けていくことが大切  
なのではないか。「湯沢町は  
なんでも長く続かない」との  
声も町民から聞こえてくる。  
観光のお客様目線が大切では  
あるが、町民が楽しめること  
も大切なのではないか。  
そこに観光のお客様も一  
緒に参加することにより  
これらの祭りが続いてい  
き、観光にもつながるの  
ではないか。これらの祭  
りを続けていくために、  
実行する組織を応援する  
ことはできないのか。

**答弁** 祭りは大切であ  
る。しかし地域力  
とマンパワーがなければ  
できない。祭りなどを  
実行する組織があれば、  
補助金などを活用して

やっていたきたい。町とし  
てもできる事はやっていき  
たい。

**質問** 機構の業務量に対して  
職員体制が脆弱でこの  
ままではいずれ機構は立ち行  
かなくなるのではないか。そ  
うなる前に考える必要がある  
のではないか。

**答弁** まちづくり機構の人員  
体制に課題がある。計  
画的な職員雇用、人材育成に  
よる組織づくりが必要だと考  
えている。



グリーンフェスの様子



# Q 防災、被災時の備えについて

みや た ま り こ  
宮 田 眞理子 (文責)



## A 再確認し、有事に備える

**質問** 中越地震から秋には20年、東日本大震災から12年が経ちます。また、今年の元旦には能登半島地震が発生し、県内にも液状化現象等、大きな被害がありました。5月に馳石川県知事と公益社団法人シビックフォースの根木代表理事と国会議員の方の鼎談を聞く機会がありました。

**答弁** 被災地では未だに困窮していることが多く、インフラがズタズタでこれまでの事例を参考にして情報等分析、デジタルを活用したということです。中でも飲料水、トイレ、衛生用品などには、大変不自由だということでした。

また、防災担当には女性を配置するべきであるというお話もありました。発災時に避難



防災倉庫内の備蓄品

所に女性用スペースを設置するなど女性の目線での細かい配慮ができるようになりま

**質問** 町民から健康福祉部への相談内容は多岐にわたると認識しております。高齢化も進み相談内容も健康増進課、介護福祉課の両課に渡るものもあり、連携も密にしていると感じております。

**答弁** 現在防災担当に女性の配置はないが、有事の

非常食、飲料水、ミルク等のローリングストックはしていると思いますが、町としての備えは充分でしょうか。

実際の避難所設置は子育て教育部が担当するため、女性職員も配置される事になります。有事の際には役場全体の配置を考える中で検討できればと考えています。

備蓄については1万食の主食の他副菜、飲料水、液体ミルク、簡易トイレ等であり、能登半島地震の状況を踏まえ必要数を再確認し有事に備えていきます。

施設入所希望者やその家族が、良く理解し選択できるような、丁寧かつ判りやすい資料があれば親切だと思われ

**質問** 健康福祉部の相談窓口の説明資料について

**答弁** 更新の際によりわかりやすい資料を作成するように指示していきたい

そういった資料を検討作成してはいかがでしょうか。

また、相談専門員の配置や相談室の設置も必要と考えますが如何でしょうか。

**答弁** 障害福祉や介護福祉の説明資料はパンフレット等で行っているが更新時にはより分かりやすく丁寧なものを作成するように更新の際には指示したいと思えます。

相談体制については相談支援センター南魚沼から1名を配置していただいています。今年度から毎日来ていただいているので相談は繋ぎやすくなっていると思います。



# 閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

## 総務文教常任委員会

### 5月2日 第3回

#### 十日町市との境界裁判の経過と今後

令和元年、新潟県知事へ調停申請。調停に適しない旨の通知。令和2年4月27日、新潟地方裁判所に訴状を提出。令和2年8月27日に口頭弁論、それ以降13回ほど弁論準備を実施。令和5年6月5日新潟地裁の判決。お互いの主張が通らず控訴。令和5年11月14日に口頭弁論、令和6年5月24日に2回目の弁論準備。湯沢町は最高裁の判例に沿った証拠書類等を提出している。

**Q** 中里村の時代からの裁判。湯沢町はお互いの妥協点で解決の考えは。

**A** 昔の記録では、裁判が始まる前までの境界未定地は、湯沢町主張線を十日町市も主張していたが、裁判が始まったら新たな主張線を示した。また裁判所も間をとって新しい線を引くということは行わないということであった。

#### 湯沢高原の運営状況と課題及び今後

**Q** ガーラ湯沢の施設関連は湯沢町に帰属するのか？  
**A** 湯沢町の主張線が採用になれば湯沢町になる。  
**Q** 裁判が長い。お互い妥協する方法はないのか。  
**A** 今後の裁判経過を見ていく方向。  
**Q** 湯沢高原の運営状況と課題及び今後  
夏・冬共、来場者数は前年を上まわった。  
新たな取組。屋外雪上休憩エリアを設置。スキー目的以外の観光に大きく貢献。夏季のインバウンドの来場が少ない。地域と連携し素材を活かし魅力発信し通年誘客を考える。施設の老朽化、人員不足による派遣会社の人件費上昇が懸念。

**Q** 来客数が増えた要因の聞き取りとしては。  
**A** 決算が終わる6月、説明したい。

**Q** 冬季の駐車場確保必要。考えは。  
**A** 湯沢高原からは不足の話はない。

**Q** 売上などは夏と冬で目標設定は。  
**A** 特に聞いていない。

#### 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価報告

令和4年度の主要事業、児童クラブ、子育てセンターの建設、第2子以降の園児、児童、生徒の給食費完全無償化。

20歳の集いが10月9日に41名の参加で行われた。  
全国童画展も大変好評であった。

#### 卒業式、入学式、新学期、学園生活の様子

進路状況、南魚沼市内公立高校22名、県内公立高校12名、県外私立高校専1名、県内私立高校3名、県外私立高校1名、通信制高校3名。  
学校生活の様子、いじめ0とするためにどんな些細な事実でも町教育委員会に報告し、しっかりと解決したことを全校体制で確認していく。不登校について原因は様々で1人ひとりに合った対応が必要。

**Q** 冬期間だけ通う子供が早くなくなる取組みは。  
**A** 歓迎会やお別れ会、子供たちで学校案内するなど。

**Q** 0歳から6歳までの子供の教育には家庭のしつけが大切では。  
**A** 親御さんにも子供との向き合い方の中で、その感覚をしっかりと伝えてもらえるようにしていきたい。

#### 部活動地域移行の現状と課題

部活動については令和5、6、7年にかけて移行し8年度には完全に地域移行。バスケットボールの指導者がいない。

現在は土日休日4回を地域で指導。1回は教員も指導。

**Q** 将来的には学校から離す形か。  
**A** 国や県はその意向だと思う。

現実的には平日までを地域の指導者によるのは難しいと考える。指導教員は県職兼業の制度がある。  
**Q** サッカー部をつくっては。  
**A** 部活数を少なくして、部活動にある程度の生徒数を確保し、チームが作れるようにしていきたい。

**Q** 選択制にし、いくつも参加できるようにしたらどうか。  
**A** 現在休日の部活動については、他の部活にも参加できるようにしている。

### 5月18日 第4回

#### 子育て世代と意見交換会

詳細は21ページへ。



# 生活福祉常任委員会

5月2日 第4回

## 湯沢町国民健康保険第3期データヘルス・第4期特定健康診査等実施計画

データヘルス計画は、町の国民健康保険において、病気による死亡原因や通院等の病状、また検診の結果や介護申請に至る人のデータを分析している。

標準化死亡比より、脳血管疾患の割合が高い。

疾病別医療費では、がん、糖尿病、高血圧、脂質異常症が上位、糖尿病、肝不全による人工透析患者の増加、費用も増。

町民に対しての普及啓発、受診勧奨を重点的に。

データヘルス計画は、6年間。毎年の評価と3年目の評価を行う。

特定健康診査等実施計画では、巡回検診、施設検診、人間ドック、かかりつけの病院でのみなし検診、の4つの形態で行う。施設検診は受入れ人数上限があり今後の課題。

**Q** 男女とも毎日飲酒多量飲酒が多い。朝食欠食が女性に多いとあるが。

**A** サービス業に従事、生活背景が影響しているか。お酒を飲む飲食業

の割合も多い。朝食欠食は女性にも多く、生活の忙しさや積極的に朝食を抜く方も多い。

**Q** 施設検診のキャパは。

**A** 職場の検診、ドッグ等合わせ、住民検診として施設検診で行っている人数は一か月300人前後。

### 居宅介護と通所介護の現状と課題

令和4年度と5年度（令和5年4月から令和6年1月まで）のサービスと支払い状況比較、訪問介護は、要介護の方の給付は減少傾向。

訪問リハビリテーションについて、予防給付は減少。介護給付、居宅療養管理指導、福祉用具の貸与、増加傾向。

特定施設入所者生活介護については57件、1,329万円ほど増加している。

**Q** 訪問介護はなくてはならない事業、事業所との話合いや連携の機会。

**A** 地域ケア会議を定期的に行っている。訪問介護は社会福祉協議会しなく、金銭的な援助も含め検討。

### 高齢者等の移動手段の確保

高齢者等路線バス運賃助成事業利用では、利用者が1000円で湯沢町内どこでも行けるもの。運賃の不足分を南越後観光バスに支払う。

利用者の比較は、大源太線が減少、土樽線が増加傾向。全体として利用者は減少。

登録者数は、4月現在305名。

福祉バスの利用実績は、三国方面は増加。旭原土樽は減少傾向。湯沢地区内は増加。

高齢者や障害者の移動手段だが、町の移動手段は緊急の課題。湯沢町地域公共交通活性化協議会で議論される。

**Q** 湯沢町は坂が多い。福祉バスの送迎の課題は。

**A** 坂道の課題は、三国方面でもあり、細い道でのバスは厳しくワンボックス車に代えるなど工夫が必要。

### 介護人材の確保

介護人材の人材確保緊急支援事業は、町内介護施設に就職を希望する方に、介護職員初任者研修及び介護職員実務者研修の研修費用を全額補助。令和元年度から開始し、令和5年度は4名が受講（初任者研修2名、実務者研修2名）。補助金の額は、19万1千円を支出。

介護人材就職支援金支給事業は、介護職員、介護施設に新たに就職される方や再就職される方に1人20万円を支給。令和5年度は、5名が利用。居宅介護支援事業所処遇改善補助

金は、介護支援専門員1人につき月額1万円を介護事業所に対し補助。令和4年度、令和5年ともに4名に補助。

介護支援専門員受験対策講座開催負担金は、令和4年度より開始。以前から南魚沼市で実施していた受験対策講座に湯沢町も参加し、ケアマネージャーを目指す方に受講を促している。令和4年度は1名、令和5年度は0名、令和6年度は1名参加希望。テキスト代1万円は自己負担。受講料は無料、模擬試験料は有料。

**Q** 資格を取った方が入った事業所で介護士として続けているか。続けられないと人材確保本来の目的には達成しない。ヒアリングの予定はあるか。

**A** 予定は無いが、検討。

**Q** 湯沢に帰って介護職種に就いてくれるならば、その勉強に行った分の奨学金の助成は。

**A** 導入に向けて検討。

**Q** 福祉サービスというが、ビジネスだ。何を改善したら人材が残れるのか、お金を回せるか議論を含め深めないと、町は永遠に補助金を出すだけ。事業所の努力は絶対的に必要。地域ケア会議などで町も言いつべき。

**A** 事業所の集まりで言っていく。

5月臨時議会

6月定例会

開会中の常任委員会

一般会計補正予算

議員表決結果報告

一般質問

閉会中の常任委員会

議員全員協議会

## 産業建設常任委員会

## 4月24日 第3回

## ふるさと納税の状況

令和5年度の寄付額は前年比123%で9億円を超え目標を達成。

主要な返礼品、応援感謝券、フジロックのチケット。駅構内に設けた自動受付機の実績、280件で1,384万円となった。

**Q** フジロックチケットはいくらの寄付が必要か。

**A** チケットが3日間ですく6万円。16く17万円の寄付額が必要。

**Q** 自動受付機の維持費は。

**A** 発券手数料が7%、場所代・電気代25万円程、リース約200万円、トータルで320万円程になる。



ふるさと納税 自動受付機

**Q** 応援感謝券、フジロックチケット地元特産品などの物品ではないので総務省の方針に沿っているのか。

**A** 地元で提供される役務のチケットなので総務省の基準に合致。

## 令和5年度観光客入込状況

令和5年度の観光客の入込は、対前年度比101.4%。ジャンル別では、スポーツが66.7%。夏の合宿が低迷。雪国館がリニューアル工事で休館、35.5%。スキー客の入込はインバウンドが31万人。

**Q** スキー場の入込数はリフト券の販売数で計算しているのか。

**A** 事業者の計算方法による。

**Q** オーバーツーリズムの対策は。

**A** 飲食店での食事提供が不足。ナイトマルシェに多くのお客様が来場。根本的解消、まちづくり機構と連携。

## 森林環境譲与税の活用と森林整備

## 間伐材の活用

令和5年度に意向調査を行った神立地区と土樽の一部について集積計画策定。神立の一部と三俣・三国地区の森林情報精緻化作業を行う。

## 令和6年度地域整備部建設課事業

## 内容

緊急自然災害防止対策事業債、国庫補助及び交付金の事業説明。

**Q** 主水公園の総工費は。

**A** 解体等含め9億2千万円程度。

## 令和5年度町道関係他除雪実績

過去10年平均で2月までは6割程度。3月終了時は8割程度。3月は、累加降雪深が過去10年で最高、氷点下の日が22日。除雪の稼働時間は昨年比の3倍。

## 令和6年度地域整備部上下水道課

## 事業内容と令和5年度上下水道利用実績状況

主要事業、下水道12、水道7事業。水道使用、前年比、件数、使用量増。料金で3百万円程増。

**Q** 石綿管の敷設替えは終了したか。

**A** 三俣中央線を来年度実施予定。

**Q** 三俣地区の下水道への接続率42%と低い、接続への取組は。

**A** 接続率42%と低い。個別にお願いして行く。

## 5月23日 第4回

## 上越妙高駅前「フルサット」(株式会社北信越地域資源研究所) 妙高市役所視察

詳細は19ページへ。



コンテナショップの概要視察①



森林が多い湯沢町

5月23日

# 湯沢町議会 産業建設常任委員会視察



産業建設常任委員会  
委員長  
並木利彦

上越妙高駅「フルサット」  
(株式会社北信越地域資源研究所)

## 目的

コンテナショップの概要視察

## 詳細

オープンは、平成28年6月17日。  
「フルサット」は、北陸新幹線上越妙高西口にフルサットを凝縮する新しい商業施設。

- 「フルサット」計画に至る動機
- 「フルサット」ショールーム見学
- コンテナ建築と地域の商業活性化

## 所感

新型コロナ禍においてキャンプやグランピングが流行した中、比較的安価で入手可能な海上コンテナ（ISO）の利用を考える向きが見られた。

コンテナ活用は、スタートアップ企業には、有効な建物と言える。デザインや設計に柔軟性があり、気密性や断熱性の高さや費用を節約できる。

ただ、海上コンテナ（ISO）規

格）は、注意したい。海上コンテナは、建築基準法のJIS規格では無いので飲食店、宿泊施設で使用できない。改造するには多額の資金が必要となってくる。最初からJIS規格のコンテナで設置した方が安上りとなることがある。

今回のパッケージで考えることは、興味深いことである。ある地区を、時間をかけずに統一した外観で創ろうと考えた時には素晴らしい有効な手段となると思った。

## 妙高市役所

### 目的

妙高市スポーツ等合宿の郷づくり推進条例、妙高高原スポーツ公園視察

### 詳細

□妙高市スポーツ等合宿の郷づくり推進条例概要

- 妙高市 合宿の郷づくり事業
- ◎合宿に必要な近隣医療機関
- ◎妙高市のスポーツ施設

◎妙高市の音楽文科系施設

◎青山学院大学と妙高市との連携協力に関する協定を締結

1. 文化・教育・学術の振興、発展のための連携。
2. 人材育成のための連携。
3. 地域活性化・まちづくりのための連携。
4. スポーツ・健康増進に関する連携。
5. その他両者が必要と認める連携。

## 所感

このような施設を湯沢町に望むことはできないが、市の観光政策を市民で考え、その政策をどのように具体的に実行し、達成していくかの過程は見習わなければならない。

湯沢町は「公共施設のあり方に関する町民アンケート」の結果を受け、「行政内部で公共施設の見直し方針案を策定し、条例に基づく行政改革推進委員会を設置し、行政内部でまとめた公共施設の見直し方針案をこの委員会に諮問し、答申を返していたら」との事。早急に諮問し答申して頂き関連各所で答申通りの公共施設のあり方を実行するため具体的な政策を討たなければならない。



妙高スポーツ施設視察



コンテナショップの概要視察②

# 議会全員協議会

※全員協議会は、議会の協議または意見調査、本会議審議に伴う協議又は、意見調整、執行部による事前説明及び意見聴取の場として、会議が開催されます。

## 3月22日 第1回

### 認定こども園の保育士確保

保育士不足解消に向けて、保育士とカウト業者からの人材派遣を活用するとともに、ゆざわマッチボックスの体験就業求人（インターンシップ）を活用し保育士の不足対応を行う。

**Q** 人材派遣事業者の活用は良いが、トラブルはないのか。

**A** 特に心配していない。

**Q** 保育士が6人不足しているようだが、緊急度はどんなものか。

**A** 保育士の不足が見込まれている0歳児は、年度の途中から段階的に入園してくるため、直ぐに厳しい状況になるわけではない。当面は、フリーで動ける、副園長2名、指導保育士3名を配置して対応していく。

## 4月18日 第2回

### 湯沢町DX推進計画

湯沢町総合計画におけるSDGsの視点や、情報通信技術の発達とSociety 5.0の到来を踏まえ、町づ

くりの視点に最先端技術の活用を取り入れ湯沢町DX推進計画を策定。

DX推進の課題はデジタル人材確保、養成が困難なため、DX推進アドバイザーとして外部人材を今年度より総務課に配置する。

**Q** 国の補助は継続するのか。

**A** アドバイザーの人件費は2年間特別交付税措置される（70%）。

### 湯沢町定員適正化計画

前適正化計画達成状況は、令和5年4月1日時点では目標を127人に設定していたが、想像をはるかに超える早期退職者があったことから、再任用5人を含め118人となっている。

新たな計画の期間は令和6年度から令和10年度までの5年間とし、令和10年4月1日を目標とする。定員適正化年次別推進計画では、令和10年には132人を目標とする。

### 公共施設の在り方に関する町民アンケート調査結果

町の保有する公共施設であって

「スポーツ・レクリエーション系施設」の将来の方向性を検討するため、町民2,000人を対象に1月11日から1月26日の期間で実施。回収率は34.9%の696票、標本誤差の範囲は5%未満が望ましいところ3.5%であることから、妥当な回答者数を得られたと言える。アンケート結果については4月にホームページで公表した。

### 総合戦略の策定

第2期総合戦略が令和2年から令和6年の計画であることから、年度内に3期計画を策定する。現行計画の評価を行い、人口ビジョンの見直しのため町民アンケートを実施予定。高校生から39歳以下の方全員を対象にウェブにて行い、総合戦略推進会議において審議等し、計画を策定する。

### 議員政務活動費の使途報告

1番	飯田 正義	55,000円
2番	水谷 幸乃	3,740円
3番	南雲あや子	8,250円

## 議会活動日誌



4月3日	新潟県町村議会議長会 議長会議（新潟県自治会館）
9日	湯沢小学校入学式（午前） 湯沢中学校入学式（午後）
10日	議会広報常任委員会
17日	議会広報常任委員会
18日	第2回議員全員協議会（政務活動費使途報告会）（他）
23日	湯沢砂防事務所長来庁 議会広報常任委員会
24日	魚沼地域特別養護老人ホーム 組合監査（南魚沼市 八色園）
26日	産業建設常任委員会 職業訓練法人南魚沼職業能力 開発運営協会第1回理事会 （書面開催）
27日	第28回越後湯沢全国画展 表彰式
5月2日	総務文教常任委員会 生活福祉常任委員会 議会運営委員会
7日	例月出納検査 監査委員
8日	第2回臨時会
8日	第3回議員全員協議会
12日	湯沢町消防団春季消防演習 令和6年スプリングセレモニー （南魚沼市立総合支援学校）
15日	令和6年度湯沢町商工会 第 49回通常総代会懇親祝賀会
17日	湯沢町ボランティア連絡協 会総会・研修会及び活動団体 交流懇親会（湯沢カトルチャー センター）
18日	総務文教常任委員会
21日	子育て世代と意見交換会（湯 沢児童クラブ）
21日～ 22日	全国町村議会議長会及び新潟県 町村議会議長会 正副議長研修

4番	渡辺 千恵	60,000円
5番	南雲 好幸	60,000円
6番	並木 利彦	41,400円
7番	高橋 政喜	60,000円
8番	岸野 雅人	55,000円
10番	田村 計久	0円
11番	宮田眞理子	21,678円
12番	白井 孝雄	0円

5月8日 第3回

観光自主財源導入

新たな財源は普通交付税に影響のない「法定外目的税」とし、「宿泊税」を検討していきたい。また、スキー場利用税について、今後研究したい。充当事業は、湯沢町観光振興計画の基本方針に関連した事業で検討。令和7年3月（予定）に条例制定をしてから総務省との協議となる。

**Q** 基本方針の地域公共交通の再編、維持は道路整備に充てられるものなのか。

**A** 道路整備には充てない。

**Q** 観光税という名目にしたらいかがい。

**A** いろいろな意見を取り入れながら検討していく。宿泊税も観光自主財源である。

総務文教常任委員会

「子育て世代と意見交換会」

5月18日(土)

子育て支援棟にて開催

委員会としては初めての試みで反省点などもありましたが、15名の方の参加があり、子育て中の方だからこそ聞けるお話を伺うことができました。

スクールバスの問題、通学路について、下校時の安全確保について、町の施設の活用について、公共の遊べる場が少ない、雨の日も遊べる場所が欲しい、通所支援について、子育て中の医療についてなど様々なご意見、お話を頂きました。これらについては財源や人員不足、また議会としては執行権があるわけではないので、担当部署からの現在の状況



を含めた返答を参加者にお送りしました。

開催後のアンケートには、「またやって欲しい」との声も多く、今後どのような形でやっていくか検討していきたいと考えています。

また今回、頂いたご意見などを今後の委員会の中でも議論しながら活かしていきたいと思えます。

参加された皆さんと委員とで「自助、公助、共助」について大切だということも確認しました。

参加していただいた皆様ありがとうございました。

6月3日

- 21日 会（東京国際フォーラム 他）令和6年度街づくり研究会通常総会及び懇親会
- 23日 産業建設常任委員会管外視察（上越市・妙高市）
- 27日 湯沢町指導力向上実践研究会 湯沢教師塾2 開講式
- 28日 例月出納検査 監査委員 湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会 監査
- 29日 栃木県那須町議会総務産業常任委員会行政視察 対応 令和6年度新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会監事会・理事会及び定期総会
- 7日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（南魚沼市 八色園 南魚沼地域広域計画協議会 監査）
- 10日 令和6年度第1回南魚沼地域広域計画協議会（南魚沼市役所）
- 14日 新潟県町村議会議長会会長 令和6年度第1回臨時総会（新潟県自治会館）
- 10日 一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構令和6年度定時社員総会懇親会
- 14日 議会広報常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 20日 第3回定例会（公期7日間）
- 24日 第4回議員全員協議会
- 26日 臨時監査（工事関係） 監査委員 一般国道17号湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会 総会及び国道事業説明会
- 27日 令和6年度第1回地下水対策委員会（心接室）
- 27日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（南魚沼市 八色園）
- 27日 第8回異業種交流会「ゆきぐに会」
- 27日 例月出納検査 監査委員

本会議の  
内容を確認  
できます

## 本会議の内容を インターネットとラジオで確認できます



インターネットにより  
本会議の動画配信を  
行っています

- ①湯沢町ホームページから
- ②町議会情報を選択
- ③議会インターネット映像配信を選択
- ④目次から日付を選択してください



一般質問は  
FMゆきぐにによる  
音声配信をしています



フェイスブックにより、議会の  
活動報告を行っています。イン  
ターネット回線を使い、会  
員登録することで議会の動き  
がいつでも確認できます。

議員と「まちづくり」について意見交換しませんか

## 出張意見交換会

お申し込み・  
お問い合わせ先

湯沢町議会事務局

〒949-6194 南魚沼郡湯沢町大字神立300番地  
TEL.025-784-3115 FAX.025-784-3510  
Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

湯沢町議会は、議会運営および議員の活動に  
関する基本事項を定めた「湯沢町議会基本条例」  
を平成27年の4月に制定しました。

### ◆議会基本条例 5条-2より

「議員は地域、組織、団体等町民と  
の意見交換の場へ積極的に参加し、  
また場を設けて広く意見を聴き、政  
策立案強化を図る責務を有する」

これに基づき、議会との意見交換会を希望す  
るグループ・団体のみなさまのところへお伺い  
します。

対象

町内において活動するグループ・団体  
で、おおむね10名以上の会合等。

申込  
方法

申込書に必要事項を記入し、湯沢町議  
会事務局へご持参いただくか、FAXで  
送信またはご郵送ください。Eメール  
で必要事項を送信していただいても受  
け付けます。

申し込み受け付け  
後、担当の委員会で  
検討した上で、開催  
可否を決定し、ご連  
絡いたします。

※申込書は、議会事務局に置いてあります。



## 編集後記

7月15日海の日を過ぎても  
長雨が続く年となりました。  
さて、6月14日から20日に  
かけて行われました定例会  
(6月議会)が終了し、約1ヶ  
月間の編集作業を経て漸く  
『議会だより』発行となりま  
した。この『議会だより』編  
集は、任期の浅い順6名で広  
報委員になり作業します。3  
月議会後の臨時議会、6月議  
会、各種委員会、議員全員協  
議会、視察研修報告等の議事  
録を要約します。また、誤字  
脱字は無いか、数字は間違っ  
ていないかなどをチェック  
し、正確かつ読みやすい紙面  
作りを心がけています。  
つきましては、『議会だよ  
り』の編集についてのご意見・  
ご感想がありましたら議会事  
務局へお寄せください。

### 議会広報常任委員会

委員長	南雲好幸
副委員長	水谷幸乃
委員	飯田正義
	南雲あや子
	渡辺千恵
	並木利彦